

# 朝霞市基地跡地整備計画（中間案） がまとまりました

問い合わせ / 政策企画室 内線2312 ☎048 463 3089（直通）

市では、基地跡地の利用計画を検討するため、平成16年11月に朝霞市基地跡地利用計画策定委員会を設置し、また、平成17年11月には、朝霞市基地跡地利用計画市民懇談会を設置し、検討を行ってまいりました。

その結果、平成18年12月に朝霞市基地跡地利用計画（最終報告書）が提出されました。

今年度、この最終報告書を受け、国・県と連携し、より実効性を高めた計画を策定するため新たに朝霞市基地跡地整備計画策定委員会を設け、検討を行ってまいりました。4月から6月までの間、4回会議を開催した結果、このほど中間案がまとまりましたのでお知らせします。

## 【主な内容】

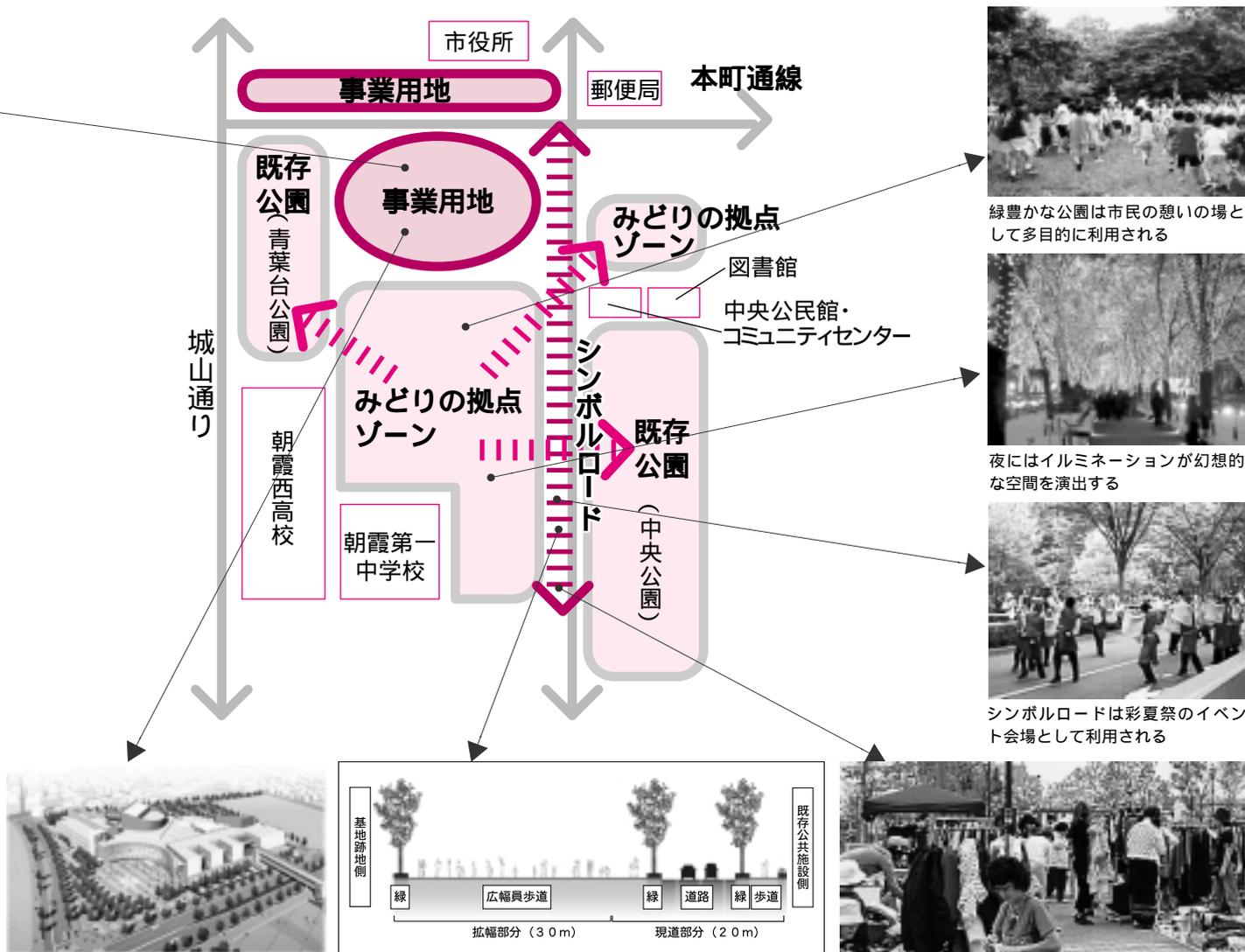
・ **国家公務員宿舎について**  
中心部北側の事業用地の一部約3<sup>分の</sup>2に、2棟の高層（26階、25階）の宿舎案を受け入れることとします。

・ **シンボルロードについて**  
公園通りを基地跡地側に30m拡幅し、公園機能を持った道路として位置づけます。

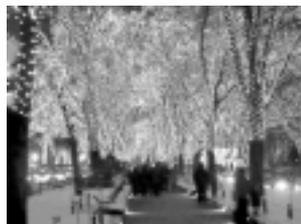
・ **みどりの拠点ゾーンについて**  
基地跡地中心部と2つの既存の公園を連携したみどりのゾーン形成を行います。

・ **事業ゾーンについて**  
基地跡地周辺の公共施設の建替え、移転、集約化の可能性に

## 基地跡地の整備イメージ



緑豊かな公園は市民の憩いの場として多目的に利用される



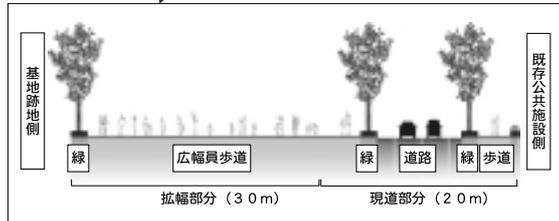
夜にはイルミネーションが幻想的な空間を演出する



シンボルロードは彩夏祭のイベント会場として利用される



市民生活の利便性を高める複合公共施設のイメージ



拡幅員の歩道を持つシンボルロードの断面イメージ



シンボルロードではフリーマーケットも開かれる

# 基地跡地整備計画（中間案） 取りまとめと今後のスケジュール

朝霞市基地跡地利用基本計画最終報告  
(朝霞市基地跡地利用策定委員会 平成 18 年 12 月策定)

## 朝霞市基地跡地整備計画策定委員会

- 【第 1 回】(平成19年 4 月23日)
  - ・基地跡地利用の現況と検討の経緯
  - ・整備計画検討の基本的方向
- 【第 2 回】(平成19年 5 月15日)
  - ・国家公務員宿舎の建設方針（財務省案 / ケース 1）
  - ・整備計画作成にあたっての計画条件
- 【第 3 回】(平成19年 5 月31日)
  - ・国家公務員宿舎の建設方針（財務省案 / ケース 2）
  - ・基地跡地の位置づけ / 基本方針 / 個別整備方針
- 【第 4 回】(平成19年 6 月26日)
  - ・朝霞市基地跡地整備計画（中間案）

## 朝霞市基地跡地整備計画（中間案）の公表 (平成 19 年 7 月)

- 朝霞市基地跡地整備計画策定委員会の開催（第 5 回以降）
- 平成19年12月 市議会へ報告
- 平成20年 1 月～ 2 月 パブリックコメント

## 朝霞市基地跡地整備計画（最終案）の決定 (平成 20 年 3 月)

## 朝霞市基地跡地整備計画を財務省に提出 (平成20年 6 月)

## 国家公務員宿舎受け入れに至った経緯

基地跡地の利用については、国はこれまで長い間、原則留保の姿勢でしたが、平成15年 6 月、財政制度審議会の答申を受け、基本方針を転換し、「原則利用、計画的有効活用」の方針を打ち出し、今後、5 年以内に財政計画を含めた基地跡地利用計画を策定するよう、国有地を管理する財務省から市に通達がありました。

これを受け、市では基地跡地の検討を進めていましたが、国より都心の国家公務員宿舎の一部を売却し、郊外に移転する計画が示され、キャンプ朝霞跡地も移転先の候補地となりました。

その後、国による調査の結果、基地跡地中心部の多数の地点から、環境基準を超える鉛が検出され、米軍キャンプ時代の地下埋設物などがあることがわかりました。

こうした汚染物質等の除去費が膨大になることや、基地跡地を公園用地や事業用地として取得していく際、また、周辺公共施設の老朽化に伴う建て替え移転・集約化においても多額の費用がかかることから、市の今後の財政負担を考える中で、総合的に判断した結果、このほど、国家公務員宿舎受け入れを基地跡地整備計画策定委員会の中で表明したものでございます。

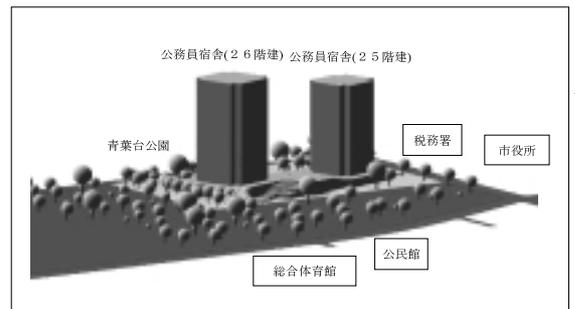
市においては、国家公務員宿舎受け入れには賛否両論あり、苦渋の選択を迫られることとなりました。しかし、宿舎受け入れにより、公園用地を取得する費用負担も少なくなり、土壌汚染や地下埋設物の処理も宿舎建設と合わせて行うことが可能となること、また、基地跡地の中心部に建設することにより、周辺住環境への影響も少なくなることなどを考え合わせ、今回、中心部の一角に受け入れすることを決断したものでございます。

【今後の検討課題】  
国家公務員宿舎の敷地面積・区域の詳細検討  
周辺公共施設の導入に関する計画条件の検討  
シンボルロードの必要性の明確化と区域・断面構成の詳細検討

ついで検討することとし、中心部北側の事業ゾーンを公務員宿舎を含め候補地として位置づけることとします。  
\* 今後は、整備計画の最終案取りまとめに向けて、さまざまな視点から検討を行ってまいります。

公園の必要性の明確化と既存公園との連携方策等の検討  
画の策定  
シビックコア地区整備制度の適用可能性の検討  
まちづくり交付金制度の適用可能性の検討  
その他の整備手法の検討  
基地跡地整備に係る市の財政負担の検討  
基地跡地整備計画の全体内容については、検討事項等がまとまった段階で、整備計画最終案としてお知らせし、パブリックコメントを行っていく予定です。

財務省提示の国家公務員宿舎のイメージ図



朝霞基地跡地現況図

